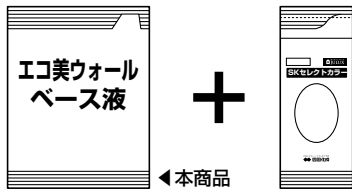


ご使用前に

SKセレクトカラー ありますか？



+

←本商品

基本色：ベース液だけでは使用できません。
必ず所定色番号の「SKセレクトカラー」を
混合してください。

エコ美ウォール

耐水タイプ（内装・外装兼用）

施工要領書

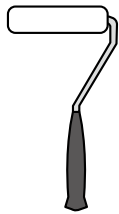
適応下地

- 水系の湿式塗り壁（強度のあるもの）

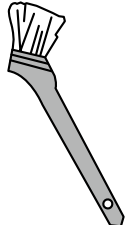
※塗布できない下地

（○ 溶剤系塗膜面、タイル面、しっくい面、サイディング面、鉄、コンパネ、プラスチック面、シリコン、フッ素系塗膜面、撥水面、ワックス面、FRP面など）

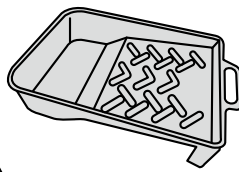
使用道具



ウールローラー
塗材を塗り付ける
メインの道具です。



ハケ
ローラーでは
塗りにくい狭い
場所、入り組んだ
場所などに使
います。



**受け皿
（ローラーパッド）**
塗材を入れるための
道具です。



カットマスキナー
床の養生などに使う
ビニールシートと
テープが一体化した
養生道具です。



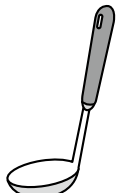
マスキングテープ
細かな箇所を養生する
ときに使うテープです。
（巾30mm以上）



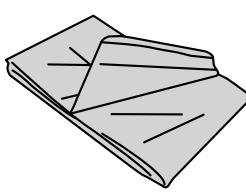
**容器
（バケツなど）**
「エコ美ウォール」と
「SKセレクトカラー」
を混ぜるための
容器です。



かき混ぜ棒
受け皿に移す前に
良くかき混ぜる
ために使います。
（60cm程度）



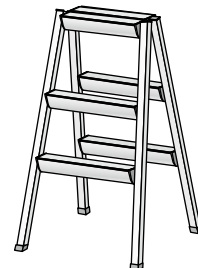
お玉
受け皿に移し
替えるときに
使います。



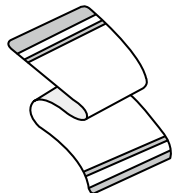
**養生シートまたは
新聞紙**
カットマスキナーでカバー
仕切れない範囲の床を
養生します。



ゴミ袋
使用後に出たゴミを
入れます。



脚立
高いところを
塗るときに
使います。



タオル
下地の掃除や
手を拭くときに
使います。

1 下地の清掃および補修

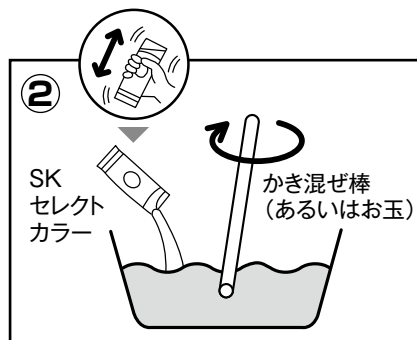
- チリやホコリなどの付着物はハケやホウキなどを使って取り除いてください。
- カビや藻は市販のカビ取り剤等で取り除き、十分に乾燥してください。
- 釘などで錆の恐れがある場所には、市販の錆止め剤で錆止めを施してください。
- 強度のない塗膜は剥離の原因となりますので施工は避けてください。

2 混合方法



容器（錆の出ない物）に「エコ美ウォール」ベース液を入れます。

※液が分離する場合がありますが、品質に問題ありません。開封前に袋をよく揉んでください。



「エコ美ウォール」ベース液1袋に対し「SK セレクトカラー」を1袋加え、かき混ぜ棒などでよくかき混ぜます。塗材の粘度が高く、塗りにくい場合は、水で少し薄めてください。

- ※ハンドミキサーで混ぜるとより便利です。
- ※必ず所定色番号の「SK セレクトカラー」を使用してください。
- ※「SK セレクトカラー」は沈澱することがありますので、よく振ってから使用してください。
- ※出来るだけ全量を出し切ってください。
- ※加水量については次項をご参照ください。
- ※水の入れ過ぎは、塗りムラやダレの原因となりますので注意してください。
- ※容器の底など、混ぜ残しがないように注意してください。

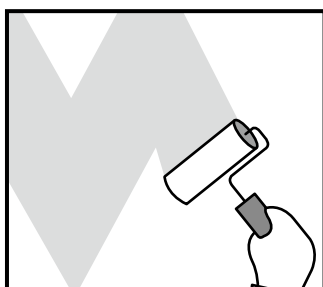
● 加水量の目安

施工方法	希釈率 (%)	1袋 (2kg) 当りの加水量 (cc)
ローラー	0~3	0~60

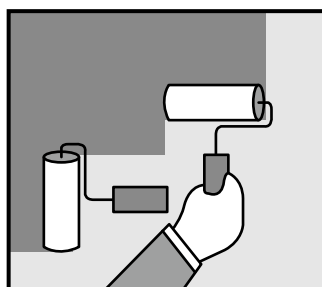
3 塗布 (ローラー施工)

- 受け皿（ローラーパッド）に塗材を移し、ウールローラーで塗布します。
- 2回塗りを標準とします。下記①~③の工程で一度全面に塗布し、表面乾燥後（触って手に付かない程度）にもう一度①~③の工程で塗布します。

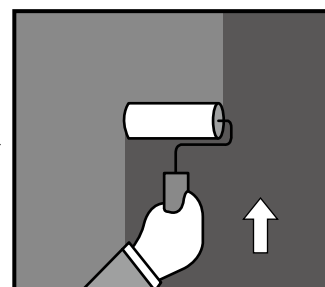
- ※一作業面は一度に塗布し、塗り継ぎは避けてください。
- ※1度塗りでは均一に仕上がりにませんので、必ず2回塗りしてください。
- ※仕上の際、ローラー目は同一方向に揃えてください。
- ※下地（古壁）が濃色の場合は3回塗り以上が必要な場合があります。
- ※厚塗りは避けてください。
- ※ローラーの届かないところはハケを併用してください。



①くばり塗り



②上下左右に塗り広げ



③仕上は同一方向に揃える

施工手順

■ 塗布量の目安：全重量2,150g（エコ美ウォール+SKセレクトカラー）で5～7㎡塗布できます。

下地面がフラットな場合：310g/㎡（2回塗りで）

下地面が凹凸の場合：430g/㎡（2回塗りで）

※上記の塗布量はあくまで目安です。

下地の素材、吸水度合、施工条件により塗布量は異なります。

■ 乾燥時間の目安

夏期：約1～2時間

冬期：約2～4時間

※上記の乾燥時間はあくまで目安です。

下地の素材、吸水度合、施工条件により乾燥時間は異なります。

取扱い上の注意

本製品を安全にお使いいただくために、以下のことを必ずお守りください。

⚠ 安全に関するご注意

【安全について】

- 子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないように注意してください。
- 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
- 施工時にボンド臭がある場合には、換気をおこなってください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
- 廃棄は法令に従って処理してください。

【塗装を始める前に】

- 床面には施工できません。
- 使用するときは、塗材を底から十分にかきまぜてください。
- 水の入れ過ぎや厚塗りは塗膜のダレやひび割れの原因となりますのでご注意ください。
- 施工前には試し塗りをを行い、色や模様のパターンの確認を行ってください。
- 塗装直後と乾燥後で塗材の色は異なります。乾燥後に本来の色になります。
- 汚れても構わない作業着で作業をし、保護眼鏡や手袋を着用してください。
- 自動車や床面など、塗材が付着してほしくない箇所は、マスキングテープやカットマスカー等で養生してください。

【下地について】

- 塗り面のゴミ、油分、カビ、藻等は予め取り除いてください。
カビや藻が発生している場合は、市販のカビ取り剤等で取り除き、十分に乾燥してください。
- 釘などで錆の恐れがある場所には、市販の錆止め剤で錆止めを施してください。
- 下地が濃色の場合などは、3回塗り以上が必要となる場合があります。
- 凹凸が大きい下地に施工する場合は、下塗りが2回必要となる場合があります。

【塗装条件・乾燥条件について】

- 気温5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。また施工後、気温0℃以下になる恐れがある場合は施工を避けてください。気温が低い場合や湿度の高い日に施工すると、なかなか乾かない場合があります。
塗装はできるだけ天気の良い日を選んでください。
- 乾燥時間は夏期約1～2時間、冬期約2～4時間を目安としますが、気象条件、塗り厚によっては、それ以上の期間を要することがあります。

【塗装後の注意】

- 塗装後は十分な換気を行い、早期の乾燥を心がけてください。換気が不十分な場合、乾燥しにくくなったり、臭いがこもったりすることがあります。
- マスキングテープ等の養生テープは塗材が完全に乾く前に、ゆっくりと剥がしてください。
- 剥がれにくい場合、カッターナイフでテープ際を切りながら剥がしてください。
- 作業中、誤ってチリ廻りやアルミサッシに塗材を付着させた場合には早めに濡れタオルでふき取ってください。
- 使用したローラーやハケなどの道具は、乾かないうちに新聞紙等でできるだけ塗材を拭き取り、その後、水洗いしてください。
- また残った材料を排水として流すと、パイプ等がつまる可能性があります。新聞紙等に塗り広げて、不燃物として廃棄してください。

【保管条件・使用期限】

- 直射日光の当る場所、湿気の高い場所、高温（40℃以上）、低温（0℃以下）での保管は避けてください。
- 使用期限は製造年月日から1年間です。
- 開封後はその日のうちに使いきってください。保存する場合は、直射日光や-5℃以下の場所を避けて塗材の表面に空気に触れないようにビニールを張り保管してください。